



市の防災対策

市では、いざというときに備えて、防災施設の整備や訓練を行っています。

◆防災設備



防災倉庫／市内22ヶ所の指定避難場所に、防災倉庫が設置されています。



避難場所(玉幡公園)／市には防災倉庫などが整備されている公園があります。



避難誘導表示案内板／市内に約540枚設置されています。

市では、以上の防災対策のほかに、釜無川及び亀沢川に固定式のカメラを設置し、大雨等で増水する川の水位等を監視しています。

◆防災訓練

災害が起きたとき、迅速で正しい防災活動ができるかどうかで、被害の大きさも変わってきます。

2005年8月28日、甲斐市として初めての総合防災訓練が行われました。「東海地震予知情報が発表され、内閣総理大臣より警戒宣言が発令された」との想定

です。午前8時にサイレンが鳴り、住民は自治会ごとに決められた訓練会場へ避難。消火や炊き出し、応急手当など実践的な訓練を受けました。

今後も毎年1回、9月1日あるいは「防災週間」の間に訓練を実施していく予定です。

